

投信フォーラム2016 in 静岡

～明日につながる資産形成 投資信託で～

賢く堅実な運用手法 理解深める

テーマで選べる商品も
深野 まず、投資信託とは何か、どんな商品なのか、秋元さんからご説明願います。

- パネリスト
目加田説子氏
秋元幸江氏
夏目憲一氏
深野康彦氏

分散投資でリスク軽減

秋元 投資家の皆さんから集めたお金を一つの大きな資金として、運用の専門家が株式や債券などに投資して運用する商品です。そして、投資信託には三つの魅力があります。一つは、個人で株式に投資する場合、例えば、日経平均株

目加田 分散投資でリスク軽減。225銘柄を全て買おうとするのは億単位の投資資金が必要になります。投資信託なら1万円程度の少額から投資でき、さらに500円、5000円でも購入できる積立投資プランのような商品もあります。次に、少額投資であっても投資資金を幾つかの商品に分ける分散投資が可能となります。最後に、投資信託では、幅広い情報や高度な知識を持つ専門家が皆さんに代わって市場分析をして

深野 リートにはどんな商品

あげようという努力が必要です。リート（不動産投資信託）の専門家である夏目さんからご説明をお願いします。

秋元 リートは売買取引に繰り返して利益を分配するのではなく、家賃収入を前払いして、その配当が比較的安定しています。株より債券や預金に近い性格の投資商品と言えると思います。

夏目 リート（不動産投資信託）の専門家である夏目さんからご説明をお願いします。

深野 投資に何を求めるか

内中心、海外中心、そしてそれを組み合わせるもの等々、投資対象の違いや運用方法の違により、さまざま種類の投資信託が準備されています。また、目加田先生がおっしゃったような環境対策に配慮した企業を選んだエコファンドや女性が活躍する企業に投資するといったテーマ型ファンドもいろいろあります。

深野 投資に何を求めるか

秋元 一言で投資信託といっても、債券中心、株式中心、国

深野 投資で利益を生むだけではない、生活にさまざまな潤いや変化をもたらすという考え方をすれば、投資はそれほど敷居が高くないと考えることができます。最後に2016年の見通しをそれぞれお聞かせいただけますか。

秋元 NISAの非課税枠で積極的な投資をしたいという方が増えています。しかし、機関投資家を中心とした欧米に比べて個人投資家中心の日本はまだ十分とは言えません。もちろん投資をする以上、運用益の最大化を図るのは重要ですが、環境や人権などの基準を取り入れた企業こそ、中長期的には持続的な投資に値することを認識し、積極的に選択してほしいと思います。

深野 投資で利益を生むだけではない、生活にさまざまな潤いや変化をもたらすという考え方をすれば、投資はそれほど敷居が高くないと考えることができます。最後に2016年の見通しをそれぞれお聞かせいただけますか。

秋元 NISAの非課税枠で積極的な投資をしたいという方が増えています。しかし、機関投資家を中心とした欧米に比べて個人投資家中心の日本はまだ十分とは言えません。もちろん投資をする以上、運用益の最大化を図るのは重要ですが、環境や人権などの基準を取り入れた企業こそ、中長期的には持続的な投資に値することを認識し、積極的に選択してほしいと思います。

どう使う？ 知って得するNISA講座

秋元 NISAの非課税枠で積極的な投資をしたいという方が増えています。しかし、機関投資家を中心とした欧米に比べて個人投資家中心の日本はまだ十分とは言えません。もちろん投資をする以上、運用益の最大化を図るのは重要ですが、環境や人権などの基準を取り入れた企業こそ、中長期的には持続的な投資に値することを認識し、積極的に選択してほしいと思います。

秋元 NISAの非課税枠で積極的な投資をしたいという方が増えています。しかし、機関投資家を中心とした欧米に比べて個人投資家中心の日本はまだ十分とは言えません。もちろん投資をする以上、運用益の最大化を図るのは重要ですが、環境や人権などの基準を取り入れた企業こそ、中長期的には持続的な投資に値することを認識し、積極的に選択してほしいと思います。

秋元 NISAの非課税枠で積極的な投資をしたいという方が増えています。しかし、機関投資家を中心とした欧米に比べて個人投資家中心の日本はまだ十分とは言えません。もちろん投資をする以上、運用益の最大化を図るのは重要ですが、環境や人権などの基準を取り入れた企業こそ、中長期的には持続的な投資に値することを認識し、積極的に選択してほしいと思います。

秋元 NISAの非課税枠で積極的な投資をしたいという方が増えています。しかし、機関投資家を中心とした欧米に比べて個人投資家中心の日本はまだ十分とは言えません。もちろん投資をする以上、運用益の最大化を図るのは重要ですが、環境や人権などの基準を取り入れた企業こそ、中長期的には持続的な投資に値することを認識し、積極的に選択してほしいと思います。

秋元 NISAの非課税枠で積極的な投資をしたいという方が増えています。しかし、機関投資家を中心とした欧米に比べて個人投資家中心の日本はまだ十分とは言えません。もちろん投資をする以上、運用益の最大化を図るのは重要ですが、環境や人権などの基準を取り入れた企業こそ、中長期的には持続的な投資に値することを認識し、積極的に選択してほしいと思います。

「投信フォーラム2016in静岡～明日につながる資産形成 投資信託で～」(一般社団法人投資信託協会、静岡新聞社・静岡放送、全国地方新聞社連合会主催)がこのほど、静岡市内で開かれました。目加田説子中央大学教授の特別講演や専門家によるパネルディスカッションを通じて、参加者約300人が投資信託やNISA(少額投資非課税制度)の基礎知識から今年の経済動向まで、資産形成に取り組むための賢く堅実な手法について理解を深めました。



目加田説子氏
めかた・もとこ氏 1961年、富士生まれ。上野大学、米子大学、法政大学、大塚大学、コロンビア大学、慶応義塾大学、国際公共政策大学院、経済学博士課程修了。国際公共政策博士。経済学博士。慶応義塾大学、東大客員助教授を歴任し、2004年から現職。

「この20年、地雷やクラスター爆弾などの兵器を禁止する運動に携わって金融機関の方々と付き合い合える機会もあり、本日は持続的な社会をつくり上げるための責任投資についてお話をいたします。日本ではまだ、責任投資やサステナブル投資といった考え方が浸透していないと感じます。従来、企業評価の指標となっていたのは財務諸表でしたが、昨今はそれに加えてESG投資も加え、総合的に評価しようとしていきます。ESGとは環境(Environment)、社会(Society)、統治(Governance)の頭文字を取った投資基準です。その考え方がどのように発

展してきたかと言いますと、17世紀の欧米の宗教家による奴隷貿易反対運動が起源となり、20世紀初めのアルコールタバコ、ギャンブルの反対運動、1960年からの反ベトナム戦争や反アパルトヘイト(人種隔離政策)、公民権運動などにつながり、80年代以降は環境汚染防止運動をきっかけに、地球的な持続社会の考え方が国際社会に広まりました。2006年には国連が環境計画イニシアチブとして責任投資原則を決めました。今年10周年を迎えましたが、スタート時点で世界16機関、運用資産2兆6000億円の規模だったのが10年後は2458機関、59兆以上に上り、ESG投資が世界的潮流として

なっています。別の調査によると、世界市場規模は14年に21.5兆円になったという報告もありました。責任投資の手法には、ネガティブ・スクリーニングという方法や、ESGに取り組み企業を積極的に選択して投資するポジティブ・スクリーニング、それにさまざまな指標を組み合わせたインテグレーション(統合)があります。ネガティブは欧州に多く、日本はポジティブが主流となっています。日本でも2010年に全国銀行協会が投資禁止を決定し、ESG投資も徐々に浸透してきています。しかし、機関投資家を中心とした欧米に比べて個人投資家中心の日本はまだ十分とは言えません。もちろん投資をする以上、運用益の最大化を図るのは重要ですが、環境や人権などの基準を取り入れた企業こそ、中長期的には持続的な投資に値することを認識し、積極的に選択してほしいと思います。

子供と言われています。現在、クラスター爆弾禁止条約に日本を含む世界98カ国が参加しています。米国、中国、ロシアのほか、中東やアジアのほとんどの国は参加していません。しかし、その一方で国際法制定前から倫理ガイドラインを設けたルウエー、世界初の国内法を成立させたベルギー、率先して非人道的兵器の排除に取り組むニュージーランドなど、欧州、中南米、アフリカに投資禁止の動きが広がっています。

秋元 NISAの非課税枠で積極的な投資をしたいという方が増えています。しかし、機関投資家を中心とした欧米に比べて個人投資家中心の日本はまだ十分とは言えません。もちろん投資をする以上、運用益の最大化を図るのは重要ですが、環境や人権などの基準を取り入れた企業こそ、中長期的には持続的な投資に値することを認識し、積極的に選択してほしいと思います。

深野 投資で利益を生むだけではない、生活にさまざまな潤いや変化をもたらすという考え方をすれば、投資はそれほど敷居が高くないと考えることができます。最後に2016年の見通しをそれぞれお聞かせいただけますか。

秋元 NISAの非課税枠で積極的な投資をしたいという方が増えています。しかし、機関投資家を中心とした欧米に比べて個人投資家中心の日本はまだ十分とは言えません。もちろん投資をする以上、運用益の最大化を図るのは重要ですが、環境や人権などの基準を取り入れた企業こそ、中長期的には持続的な投資に値することを認識し、積極的に選択してほしいと思います。

明日につながる資産形成 投資信託で

将来のことがとても心配。投資で備えるという話も聞くけれど…

投資信託は、1万円程度からはじめられて、リスクを小さくする分散投資も可能な商品です。あなたの資産形成に加えてみませんか。

投資信託協会ホームページでは初心者にもわかりやすいコンテンツを公開しています

- NISAと出会う6つのコラム
FPに聞くNISAの賢い使い方や口座開設体験記など6つのコラムを収録
- 「知っておきたい!投資の基本」
投資で大切な4つのポイントをわかりやすく解説
- 「知恵を結集して資産を運用する～投資信託の運用会社に迫る～」
お預かりした資産を適切に運用するため、日々奮闘するプロフェッショナルたちの仕事を映像で紹介

無料 ガイドブックプレゼント (各1冊セット)

これから投資を始める人を応援する 税制優遇制度「NISA(ニーサ)」についても解説しています。

ご希望の方は、投資信託協会ホームページからお申し込みください。ハガキの場合は郵便番号、住所、氏名をご記入の上、下記までご請求ください。(お届けまで2週間程度かかる場合があります。)

〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町2-1 東京証券取引所ビル6階 一般社団法人 投資信託協会S2係
※いただいた個人情報は、本ガイドの送付のほか、当協会が開催する講演会やセミナーのご案内に使用することがあります。

